

手話について知ろう

手話とは、ろう者が会話するときに使う言葉です。近年では、手話を勉強する人も増えていきます。ここでは、「手話」をさまざまな角度から知る手がかりとして参考となる資料を紹介します。

1. 日本手話のしくみ・やり方を学ぶ



『ひとめでわかる！はじめての手話』 成美堂出版：発行 2025年8月 (378.28)

手話初心者向けの入門書。日常生活のなかでよく使われる単語やフレーズをイラストでわかりやすく説明しています。インスタグラムやユーチューブなど新しい単語も掲載。

『写真と動画でわかるはじめての子ども手話』 モンキー高野：著

ナツメ社：発行 2024年10月 (児童 378)

あいさつから、自己紹介、すきなこと、困ったときの日本手話の表現を、写真とQRコードでわかりやすく説明しています。

『はじめてでもそのまま使える手話会話フレーズ 228』 池田書店：発行

2023年10月 (378.28)

日本手話と日本語対应手話、両方の表現を併記した会話フレーズ集。趣味やお出かけ、仕事、SNS・ネットなどさまざまな場面で使う会話を手話で紹介しています。

『動画でよくわかる基本の手話』 新装改訂版 メイツユニバーサルコンテンツ：発行

2023年9月 (378.28)

手話を初めて学ぶ人を対象に、日常でよく使う実践的なフレーズを中心に、実用的な「日本手話」を紹介しています。掲載している二次元コードから、紹介している内容の動画を視聴することができます。

『すぐに引ける手話ハンドブック』 モンキー高野：著 ナツメ社：発行 2023年2月

(378.28 ㇵ)

よく使われる日本手話、約2500語を五十音順に紹介したハンドブック。リモートワークやInstagramなど新しい手話も収録。豊富な使い方例と「役立つ基本単語集」が便利です。

『しくみが身につく手話 1 入門編』 前川和美 [ほか]：著 白水社：発行

2022年8月 (378.28)

自己紹介や待ち合わせなど日常の場面ごとに登場人物による会話を写真で紹介し、文法や単語を解説。DVD付き。第2弾『しくみが身につく手話 2 初級編』もあります。

『わくわく！納得！手話トーク』 松岡和美：著，高野 乃子／マンガ
くろしお出版：発行 2021年10月 (378.28 マツ)
「手話のしくみ」や「ろうコミュニティと手話」の8つのトピックについて、マンガとやさしい解説、コラムで説明しています。

『はじめての手話』 改訂新版 木村晴美，市田泰弘：著 生活書院：発行 2014年8月
(378.28 キム)

日本で初めて手話を言語として扱った入門書の改訂新版。手話研究の進展に合わせ「日本手話の文法」を書き換え、詳しく流れるようなイラストと、表現のポイントやコラムの文で分かりやすく説明しています。

『これが大阪の手話でっせ』 『これが大阪の手話でっせ』出版編集委員会：編
大阪聴力障害者協会：発行 2001年2月 (378.28)
大阪の地名や名所、大阪独特の手話の言葉や言い回しをまとめた本です。索引あり。

2. 手話を使う人たちの暮らしを知る



『知っていますか？聴覚障害者とともに一問一答』 デフサポートおおさか：編著
解放出版社：発行 2007年12月 (369.276)
聴覚障害者とともに生きるには、社会や個人にどのようなことが望まれるか。就労、教育、福祉サービス、生活、遊び、手話、暮らしに便利な機器など様々な視点で書かれています。

『ろう者の祈り』 中島隆：著 朝日新聞出版：発行 2017年12月 (369.276 ナ)
聴覚に障害をもつ「ろう者」の人々が、厳しい現実に向き合っていく姿を取材したルポルタージュ。

『「コーダ」のぼくが見る世界』 五十嵐大：著 紀伊國屋書店：発行 2024年8月
(YA369.276 伊)
コーダ (CODA) とは、ろう者難聴者の親を持ちながら自分自身は聴こえる子どもの事。聴こえない親への日々の通訳、コミュニケーションの難しさ、ろう者が描かれるドラマなどについて、著者がコーダの目を見た世界を綴ります。

『ぼくは耳が聞こえない —それでも妻と一緒に住んだら人生幸せになった話』
みゆみゆチャンネル：著 KADOKAWA：発行 2023年8月 (378.28 ミユ)
耳の聞こえない夫と聴者の妻が、「ろう者の日常」をテーマに YouTube をやっている夫婦の普段の生活を綴るエッセイ。ろう者のマンガ家ミカヅキユミの、書き下ろしマンガも収録。

『耳の聞こえない人、オモロイヤン！と思わず言っちゃう本』

大谷邦郎：編著 星湖舎：発行 2019年7月 (378.28 材)

耳の聞こえない人はみんな「カラオケで歌うなんて無理」「全員手話を使う」、それって実は思い込み。「聴覚障害者あるある」など聞こえない人の本音満載の本です。

『ろう者のトリセツ聴者のトリセツ ーろう者と聴者の言葉のズレ』

関西手話カレッジ：編・著 星湖舎：発行 2009年11月 (378.28)

ろう者の手話と聴者の日本語、意味が伝わらない!?ろう者と聴者の間に起こるコミュニケーションのズレを例にあげて解説し、誤解を解消するための“トリセツ”です。

『レインツリーの国』 有川浩：著 新潮社：発行 2009年7月 (BF 71)

大好きだった本について書かれたブログを見つけた伸行は、管理人のひとみとメールの交換を続けるうちに会いたい思いが募りますが、ひとみには会えない秘密がありました。登場人物はろう者ではありませんが、物語では聞こえにくい人への偏見や生きづらさも描かれます。

3. 手話通訳士をめざす



『手話通訳者になろう』 木村晴美：著，岡典栄／著 白水社：発行 2019年9月 (378.28 ㊦)

手話通訳は、日本語と日本手話という二つの言語の間を取り持ち、コミュニケーションを成立させる言語のエキスパートです。手話の学び方、通訳者になる方法とともに、教育、医療、スポーツや国際会議など、各分野で活躍する手話通訳者たちがその魅力を語ります。

『手話通訳を学ぶ人の「手話通訳学」入門』改訂版 林 智樹：著

クリエイツかもがわ：発行 2017年5月 (378.28 ハ)

手話通訳のあり方、歴史、心がまえ、技術を学ぶための入門書。手話を「手話通訳学」として学問、研究の対象とし位置づけて掘り下げる専門書にもなっています。

『マンガで読む手話通訳事例集』第3版

全国手話通訳問題研究会手話通訳活動あり方検討委員会：編著

全国手話通訳問題研究会：発行 2017年9月 (378.28)

手話通訳者が実際に経験した事例をもとに、手話通訳という仕事の捉え方や、聞こえない人がかかえる生活上の困難さ、情報保障にとどまらない課題などを具体的に提示しています。

『手話通訳なるほど大学』

市川恵美子：著 クリエイツかもがわ：発行 2011年3月 (378.28)

どんな表現をすれば、聞こえない方にとって疲れない手話通訳ができるか。法廷や取り調べ、病院での手話通訳についても書かれています。

4. 最新の情報を調べる

◎雑誌で調べる

「手話通訳問題研究」 全国手話通訳問題研究会：発行 季刊

「MIMI」 全日本ろうあ連盟：発行 季刊

◎新聞で調べる

「日本聴力障害新聞」 全日本ろうあ連盟出版局：発行 月刊

◎新聞記事で調べる

朝日新聞クロスサーチ

DVD 毎日新聞全地方版 平成 17 年度～

◎インターネットで調べる

社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

<http://www.jyoubun-center.or.jp/>

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

<https://www.jfd.or.jp/>

公益社団法人 大阪聴力障害者協会

<http://daicyokyo.jp>



≪お問合せ先≫

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚 2 丁目 1-1

MAIL : toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp

T E L : 050-7105-8150

F A X : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道 (path)」を「見つける人 (finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。